

定番 I C LM380 使用のオーディオアンプ

# 2.4Wステレオ パワーアンプ

[キット]

MA-2380KIT

CODE2028-128 第4版 130418 \*\*\*Y

## 概要

定番のパワーアンプ I C 「LM380」を2個搭載したステレオパワーアンプの基板です。

最大出力は2.4W+2.4W(12V、4Ω負荷時)、携帯用オーディオの外付けアンプとしての使用が最適です。

また、ちょっとした実験で微小信号(ラインレベルの出力など)をスピーカで鳴らしたい時に重宝します。

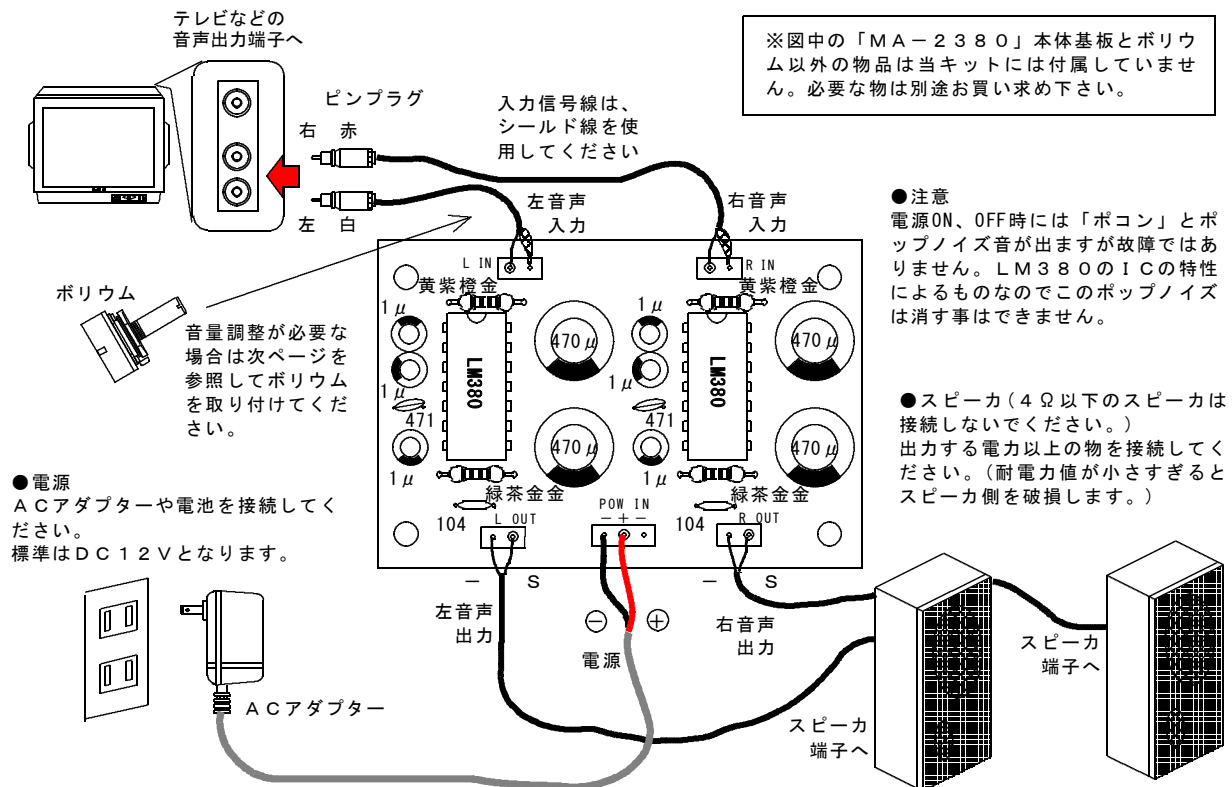
## 仕様

電源電圧	標準 12V (10.0~12.0V 可)
動作時電流(最大出力時)	4Ω時 約700mA 8Ω時 約400mA 16Ω時 約150mA
※電源電圧12Vで最大電力を出力するには上記の電流以上を供給できる電源が必要です。	
待機時電流	平均 1.8mA (12V時)
電圧ゲイン	約5.0倍(+3.4db) ※ゲインは固定で変更できません。
入力	ラインレベル 2系統(ステレオ)
出力	スピーカ出力(4~16Ω) 2系統(ステレオ)
出力電力最大値	約2.4W×2 (12V 4Ω負荷時) 約1.5W×2 (12V 8Ω負荷時) 約0.5W×2 (12V 16Ω負荷時)
基板寸法	W65×D45×H16mm ※Hは基板ハンダ面を含む。

## お客さまへ

ワンダーキット(共立電子産業㈱)、販売元、再販業者では、お客さまに対し、本商品がお客さまの特定の目的にかなうこと、他の製品に対して侵害なき事を一切保証する事はできません。また、いかなる状況下、法律上、契約上のもとにおいて、間接的、付随的、あるいは結果的に生じた、いかなる種類の損害に対しても一切の責任を負えません。あらかじめご了承の上、ご利用ください。

## 組立参考図



## ① パーツチェック

パーツリストでパーツをチェックしてください。  
 パーツリストは、組立リストを兼ねています。  
 リスト中の□□にチェックを入れましょう。  
 左側はパーツチェック用、右側は組立チェック用です。

## ② 組立

パーツの取り付けは組立参考図やパーツリストを見ながら番号順に行ってください。

パーツは無理のない範囲で基板に当たるまで、きちんと差込、ハンダ付けしてください。

ハンダ付け前に、別紙の「正しいハンダ付けの仕方」をよくお読みください。

ペーストは絶対に使わないでください。

### ① 抵抗・ジャンパー線

□□R 1	47KΩ (黄紫橙金)
□□R 2	5.1Ω (緑茶金金)
□□R 3	47KΩ (黄紫橙金)
□□R 4	5.1Ω (緑茶金金)

まっすぐに  
差し込む



取付方向なし

### ② セラミックコンデンサ

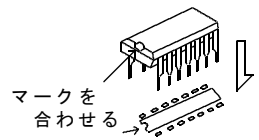
□□C 2	471 (470pF)
□□C 8	471 (470pF)

極性無し  
まっすぐに  
差し込む



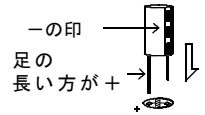
### ③ IC

□□IC 1	LM380
□□IC 2	LM380



### ④ 電解コンデンサ

□□C 1	1μF
□□C 3	1μF
□□C 7	1μF
□□C 9	1μF
□□C 13	1μF
□□C 14	1μF



### ⑤ 積層セラミックコンデンサ

□□C 5	104 (0.1μF)
□□C 11	104 (0.1μF)

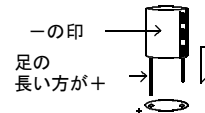
取付方向なし

まっすぐに  
差し込む



### ⑥ 電解コンデンサ

□□C 4	470μF
□□C 6	470μF
□□C 10	470μF
□□C 12	470μF



最後に基板全体を見て部品の取付が間違っていないかどうか、あるいはハンダ付け不良やショートがないかどうかを良くチェックしてください。

## ③ 使い方

### ● 基本手順

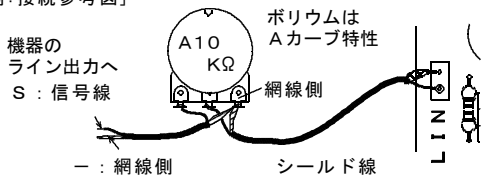
組立参考図を参考に、電源、入力、出力(スピーカ)を取り付けてください。

入力端子から入った音声が増幅されて出力端子(スピーカ)に出力されスピーカを鳴らします。

### ● 入力ボリュームの付け方

音量を調整する時は、L、Rそれぞれの入力に下記のように付属のボリューム(10KΩ)を取り付けて下さい。

[L側:接続参考図]



※R側も同じ要領で取り付けて下さい。

### ● 使用環境温度について

動作中はIC自身が発熱します。動作中は密封した箱に入れないでください。ICの温度が70°を超えると破損する恐れがありますので注意してください。

高出力中(IC自身の損失が1W以上ある時)はICの放熱が必要です。放熱はICの上にヒートシンクを取り付けるかファンなどで風を送って冷却してください。

## — 回路図 —

## 非公開

(回路図は製品版にのみ記載されています)

当キットの規格以外の使い方や改造の仕方についての御質問はご遠慮下さい。  
 規格以外の使い方や改造による不動作、部品の破壊等の損害については一切補償致しかねます。また、ご質問は質問事項、明記の上「封書」「FAX」「Eメール」でお願いします。お電話ではお答えいたしかねます。(内容によっては回答に時間のかかる場合があります。)  
 [FAX 06 6644 4448]  
 [Eメール wonderkit@keic.jp]

**ワンダーキット**

〒556-0004 大阪市浪速区日本橋西 2-5-1  
 TEL (06) 6644-4447 (代)  
 FAX (06) 6644-4448  
 通販専用 TEL (06) 6644-6116